

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公表番号】特表 2020-526716 (P2020-526716A)

【公表日】令和 2 年 8 月 31 日 (2020.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2020-035

【出願番号】特願 2019-571970 (P2019-571970)

【国際特許分類】

F 1 6 B 45/00 (2006.01)

F 1 6 B 11/00 (2006.01)

A 4 7 G 29/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/38 (2018.01)

【F I】

F 1 6 B 45/00 Z

F 1 6 B 11/00 B

A 4 7 G 29/00 C

A 4 7 G 29/00 E

C 0 9 J 7/38

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 24 日 (2021.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

厚さにより分離された互いに反対側を向いている第 1 主平面及び第 2 主平面を含むバック
ングと、

前記バックングの前記第 1 主平面上の第 1 接着領域であって、接着性を示し、第 1 の形
状を有する接着アイランドの配列パターンを含む、第 1 接着領域と、

前記バックングの前記第 2 主平面上の第 1 非接着領域であって、顕著な接着性を欠いて
おり、かつ第 1 接着領域に対して直接反対側を向いている、第 1 非接着領域と、

前記バックングの前記バックング第 2 主面に隣接する取付デバイスと、

を備え、

前記第 1 非接着領域は、第 2 の形状を有する非接着要素を含み、前記第 1 主平面上の接
着アイランドに対して直接反対側を向いている、接着性取付アセンブリ。

【請求項 2】

前記第 1 主面上に第 2 非接着領域を更に備える、請求項 1 に記載の接着性取付アセンブ
リ。

【請求項 3】

前記第 1 の形状は、第 1 の寸法を含み、前記第 2 の形状は、第 2 の寸法を含み、前記第
2 の寸法は、前記第 1 の寸法よりも大きい、請求項 1 に記載の接着性取付アセンブリ。

【請求項 4】

前記非接着領域は、1 つ以上の非接着要素を接続するブリッジを更に含み、前記ブリッ
ジもまた接着機能性を欠いている、請求項 1 に記載の接着性取付アセンブリ。

【請求項 5】

前記バックングは、長手方向軸を含み、前記第 1 接着領域と前記第 2 接着領域とは、前

記バックングの厚さにわたって前記長手方向軸に垂直に延びるいずれの平面においても面一ではない、請求項1に記載の接着性取付アセンブリ。

【請求項 6】

前記第 1 非接着領域と前記第 2 非接着領域とは、前記厚さにわたって前記長手方向軸に垂直に延びるいずれの平面においても面一ではない、請求項5に記載の接着性取付アセンブリ。

【請求項 7】

前記非接着領域は、前記接着剤の接着性を実質的に減少させる弱化層を含み、前記弱化層は、前記接着剤に隣接して配置されている、請求項 1 ~ 6に記載の接着性取付アセンブリ。

【請求項 8】

接着性取付アセンブリを形成する方法であって、

厚さにより分離された互いに反対側を向いている第 1 平面と第 2 平面とを含むバックングを用意することと、

前記バックングの前記第 1 主平面上に第 1 接着領域及び第 1 非接着領域を形成することであって、前記第 1 接着領域は、剥離可能接着剤を含む、第 1 接着領域及び第 1 非接着領域を形成することと、

前記バックングの前記第 2 主面上に第 2 接着領域及び第 2 非接着領域を形成し、マスターシートを作成することと、

第 1 の形状を有する主面を有する取付デバイスを用意することと、前記第 1 の形状に対応する前記マスターシートの一部を除去して個別のバックングを作成することと、

前記バックングを前記取付デバイスの前記主面に隣接させて配置することと、
を含み、

前記第 1 接着領域及び前記第 1 非接着領域を形成することは、接着要素の配列パターンを特徴とした第 1 の接着剤分布を作成することを含み、前記第 2 接着領域及び前記第 2 非接着領域を形成することは、前記第 1 の分布の前記接着要素に対応する形状の非接着要素の配列パターンを特徴とした第 2 の接着剤分布を作成することを含む、方法。